

小中高等学校の教室における Appleのテクノロジーの影響 アジア太平洋地域での調査レポート



Greater Divideは、複雑なデータを明確な知見に変えるマーケティング
リサーチ・コンサルティング会社です。実績のある手法と革新的な技術を
組み合わせ、企業が十分な情報にもとづき確信を持って意思決定を行える
よう支援します。

協力

データ収集：Quest Mindshare

データ分析および報告：Greater Divide

本調査はAppleより支援を受けて実施された。本レポートに示した結論および考察は、
あくまで執筆陣の個人的な見解である。

序論

熱心な教育者なら誰しも、児童・生徒が教室で成果を挙げ、いずれは社会に出て成功する姿を見たいと願っているものである。児童・生徒の成果や成功は、単に成績やテストの点数だけで決まるわけではない。それには、自信、自主性、創造性、学習意欲など、認知や社会性の発達に関連する様々な能力や資質も含まれる。学業成績の向上を後押しするとともに、こうした能力・資質を育成すれば、児童・生徒は意欲的な学習者となって成果を収め、それぞれ自分の道へと進む準備を整えることができる。

テクノロジーは、教師や児童・生徒が一人ひとりにあった学習目標を達成するために利用できる、強力なツールである。調査によると、Apple製デバイスは教育者が最も重視する主要な技術的特性—信頼性、耐久性、プライバシーとセキュリティ、内蔵のアクセシビリティ機能、学校における既存のテクノロジー環境との互換性など—を一貫して備えており、特に主要な他社製デバイスと比較した場合、その傾向は顕著である。実際、Macを利用している米国の教師や管理職の94%が、ハードウェアの性能について「非常に良い」または「良い」と評価したのに対し、主要な他社製デバイスを利用している人ではわずか58%にとどまった。しかし、テクノロジーは、児童・生徒の実際の学習成果にどのように結びついているのであろうか？

教室におけるAppleのテクノロジーの影響を検証するため、教師を対象に大規模な調査研究を実施し、児童・生徒への影響や行動・態度に関する知見を得た。

本レポートでは、Apple製デバイス（MacおよびiPad）と主要な他社製デバイスとを比較している。本調査により、教室における児童・生徒への影響や、授業中に観察される特定の行動・態度において、Apple製デバイス、特にMacは、主要な他社製デバイスよりも優れている場合が多いことが明らかになった。

小中高等学校の教師を対象とした調査結果は以下の通りである。

- 教師の90%以上が、Macは児童・生徒に全般的にプラスの影響を与えていると回答している。これは、主要な他社製デバイスを利用している児童・生徒の場合よりも8ポイント高い。
- 教師の80%以上が、Macは児童・生徒の批判的思考力の向上に役立っていると回答している。一方、児童・生徒が主要な他社製デバイスを利用している場合、その割合はわずか66%にとどまっている。
- 教師の4分の3が、Macを利用している児童・生徒は主体性を持って学んでいると報告している。これは主要な他社製デバイスを利用している児童・生徒の場合よりも17ポイントも高い。
- 教師の4分の3が、Macを利用している児童・生徒は学んだ内容を創造的な方法で表現しているとも報告している。これは主要な他社製デバイスを利用している児童・生徒の場合よりも16ポイント高い。

結果は明白：児童・生徒がMacを利用している場合、児童・生徒の成果や成功に欠かせない様々な側面において、プラスの影響と良好な行動や態度が顕著に見られると教師は報告している。

調査手法

この小中高等学校における影響調査は、4大陸19か国の教師を対象に実施した。

- ・ 北米：カナダ、米国
- ・ ヨーロッパ：ベルギー、フランス、ドイツ、ノルウェー、ポーランド、スウェーデン、英国
- ・ アジア・中東：日本、中国、インドネシア、マレーシア、シンガポール、韓国、台湾、タイ、アラブ首長国連邦
- ・ オーストラリア

本レポートは、アジア太平洋地域の4か国、すなわち、日本、オーストラリア、韓国、台湾の教師について報告する。

この小中高等学校における影響調査の一環として、アジア太平洋地域（日本、オーストラリア、韓国、台湾）の教師、計5,772人を対象にアンケート調査を行った。このアンケート調査は、2025年8月25日から10月1日にかけて、外部のパネル調査会社を通じてオンラインで実施した。

以下は、アジア太平洋地域の教師2,878人から寄せられた回答結果である。それらの教師が受け持っている児童・生徒は、授業でMacデスクトップ、Macノートブック、iPad、または主要な他社製デバイスのいずれかを主に利用している。本レポートで引用している世界的な比較データは、本調査を実施した19か国の平均値である。なお、主要な他社製デバイスについては中国で販売されていないため、中国を除く国々のデータにもとづいている。

本レポートの対象となる関連グループのサンプルサイズ	小学校の教師	中学校・高等学校の教師	合計
オーストラリア	524	299	823
日本	332	341	673
韓国	253	344	597
台湾	381	404	785
合計	1,490	1,388	2,878
児童・生徒が利用しているデバイス			
Macデスクトップ	369	358	727
Macノートブック	194	244	438
iPad	617	480	1,097
Apple製デバイスの合計	1,180	1,082	2,262
主要な他社製デバイス	310	306	616
Apple製デバイスと主要な他社製デバイスの合計	1,490	1,388	2,878
学校設置者区分			
公立	764	612	1,376
私立	726	776	1,502
学校設置者区分の合計	1,490	1,388	2,878

本レポートは、デバイスが児童・生徒の学習に与える影響について、教師がどのように認識しているかに焦点を合わせている。

関連グループ間の差は、信頼水準95%で検定を行った。統計的な有意性を示す記号は、付録のデータ表に記載した。

以降のページで、この重要な調査の主な結果について詳しく解説する。

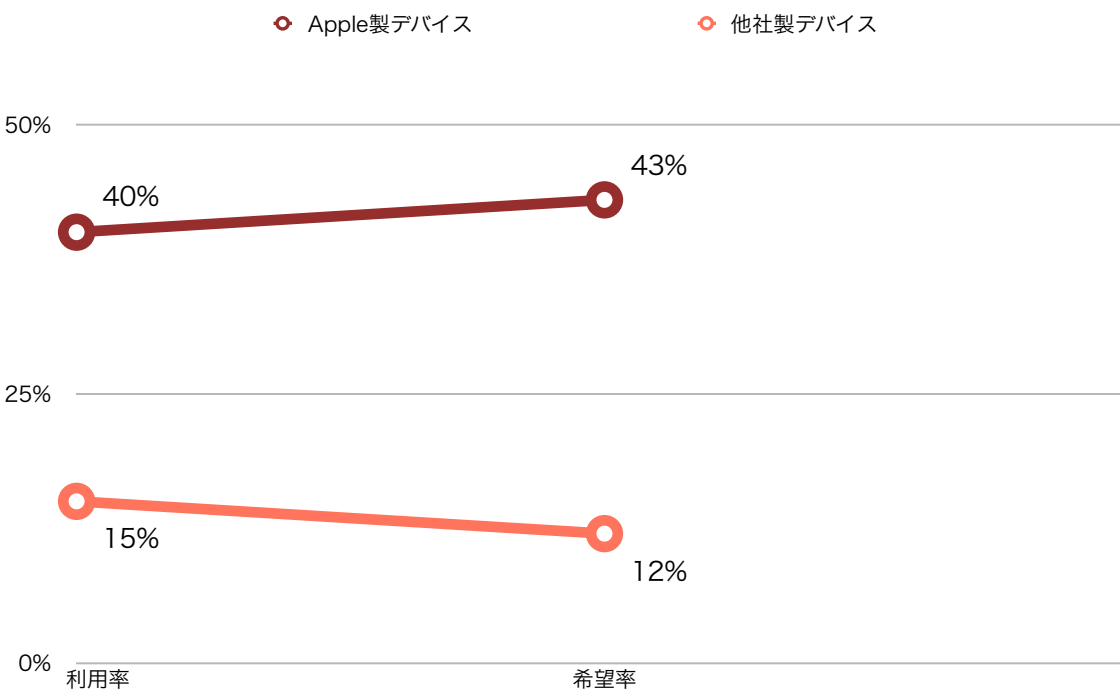
主な調査結果

デバイスの利用状況

現在利用しているデバイスの割合（図中の「利用率」）で、Apple製デバイスは主要な他社製デバイスを上回っているが、利用を望んでいる割合（「希望率」）ではその差がさらに開いている。つまり、現在Apple製デバイスを利用している教師以上に多くの教師がApple製デバイスを利用したいと考えていることになる。他社製デバイスでは逆の傾向が見られる。

Apple製デバイスに対するこの「利用率」と「希望率」とのギャップは、教師たちの心の中ではApple製デバイスが優位に立っていることを示している。

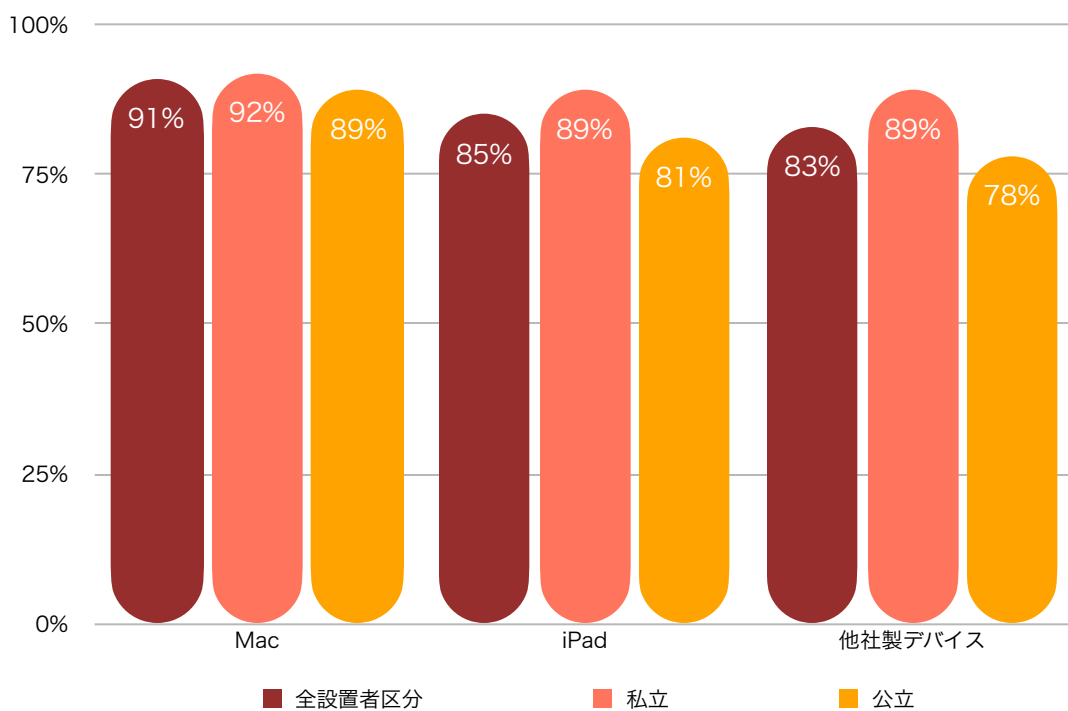
「利用率」対「希望率」 — アジア太平洋地域の平均値



全般的な影響

アジア太平洋地域の小中高等学校の教師の90%以上が、Macは児童・生徒にプラスの影響を与えていると回答している。全般的なプラスの影響に関して、Macは主要な他社製デバイスよりも8ポイント上回っている。Macの優位性は私立校と公立校の両方で見られる。これは、本レポートの続く4つのセクションで取り上げる「影響」および「行動・態度」の項目でも同様である。

アジア太平洋地域の結果



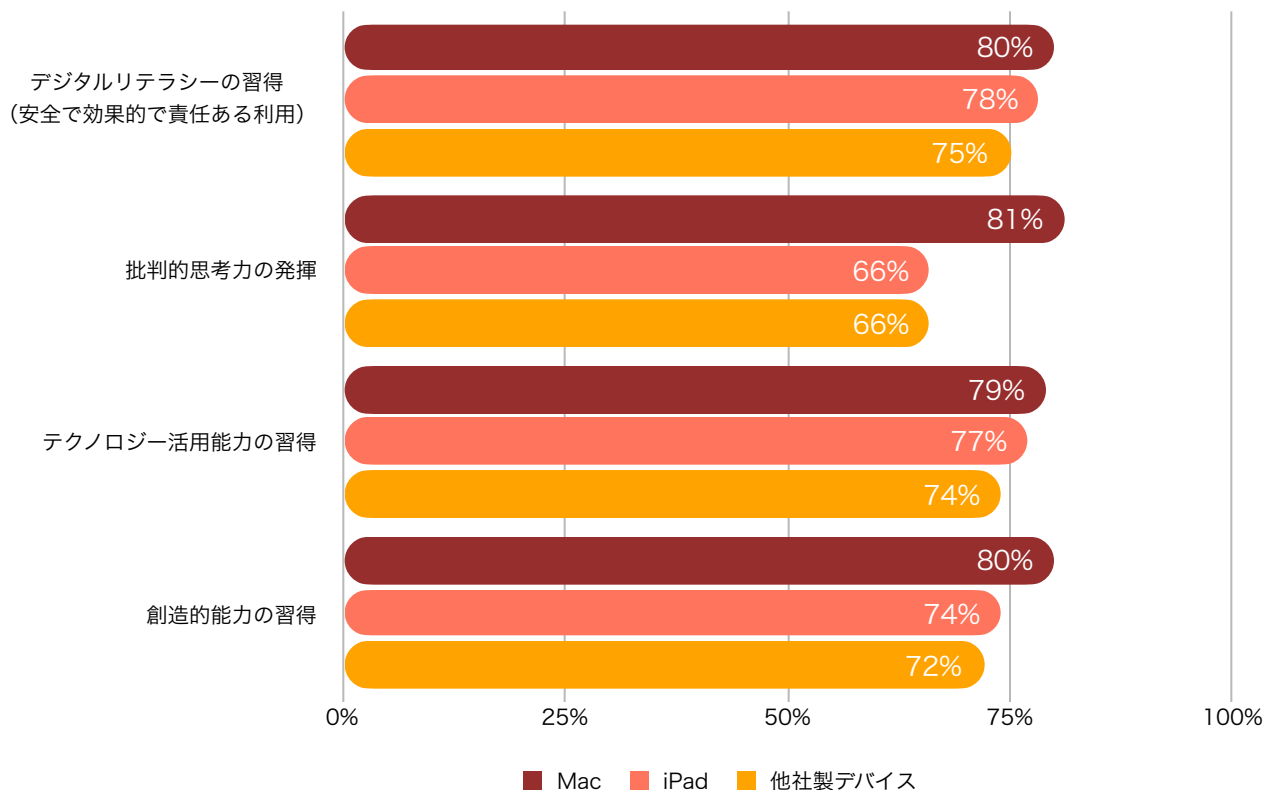
高度な思考力と創造性

「学び方」という点でMacは非常に優れており、少なくとも79%の教師が、Macはそれを使う児童・生徒に、高度な思考力や創造性の面でプラスの影響を与えていると評価している。

ここに示した高度な思考力と創造性に関連するすべての指標で、Macを利用している児童・生徒への影響は主要な他社製デバイスを利用している児童・生徒への影響と比べて有意に高い。特に「批判的思考力の発揮」「創造的能力の習得」の項目で、Macは他社製デバイスよりも児童・生徒へのプラスの影響が有意に高いことがわかる。

児童・生徒がMacを利用している場合、主要な他社製デバイスを利用している場合よりもプラスの影響があるという回答が多く、その差は「批判的思考力の発揮」で**15ポイント（日本では22ポイント）**、「創造的能力の習得」で**8ポイント**である。台湾では、児童・生徒がMacを利用している場合、主要な他社製デバイスを利用している場合よりも「テクノロジー活用能力の習得」にプラスの影響があるという回答が多く、その差は**11ポイント**である。

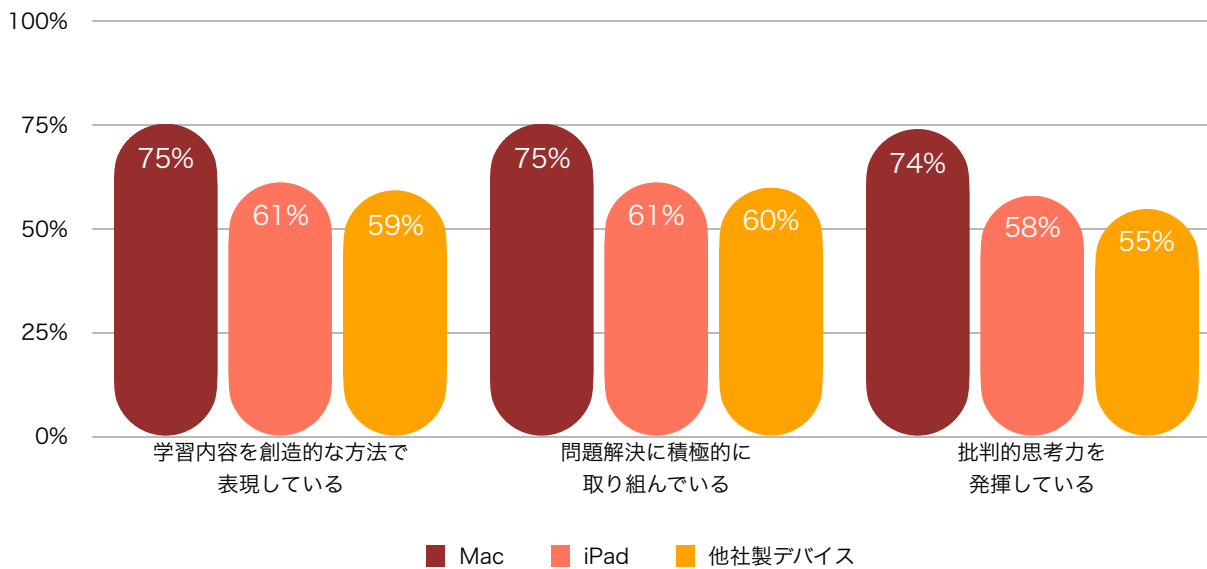
アジア太平洋地域の結果



世界的に見ても、Macを利用している児童・生徒に対する影響は他社製デバイスを利用している児童・生徒と比較して優位であり、その差は批判的思考力において12ポイント（80%対68%）、創造的能力において8ポイント（81%対73%）である。

また、児童・生徒がMacを利用している場合の方が、他社製デバイスを利用している場合よりも、授業中に高度な思考力や創造性が発揮される行動や態度を教師が目にする頻度が有意に高い。

アジア太平洋地域の結果



このようにMacが他社製デバイスを大幅に上回る傾向は、特にオーストラリアと日本で顕著である。例えば、オーストラリアでは「学習内容を創造的な方法で表現している」と「問題解決に積極的に取り組んでいる」の両方でMacが11ポイント上回っており、日本ではMacが他社製デバイスをさらに大きく上回っている（「批判的思考力を発揮している」で29ポイント、「学習内容を創造的な方法で表現している」で23ポイント、「問題解決に積極的に取り組んでいる」で16ポイント）。

実際、教室において「学習内容を創造的な方法で表現している」「問題解決に積極的に取り組んでいる」「批判的思考力を発揮している」といった行動や態度が見られる頻度は、世界全体でもMacが他社製デバイスを上回っている（それぞれ76%対61%、76%対63%、75%対58%）。

自己管理能力と実行力

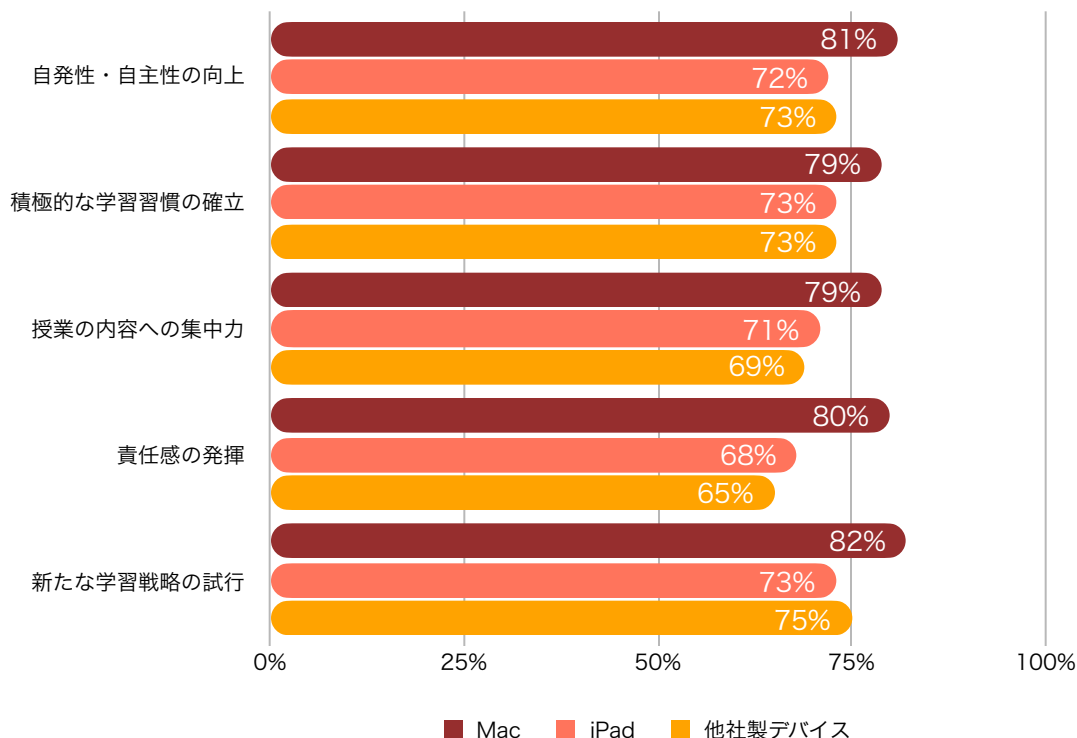
集中力を高めたり自主的な学習習慣を確立したりすることは児童・生徒の成長において極めて重要な要素であり、これらを身につけることによって児童・生徒は持続的に成果を挙げることができる。そして、Macが教室において、これらの要素獲得に大きく寄与していることは、約80%の教師が報告している通りである。

児童・生徒が教室で様々なものに気を取られ、授業から注意がそれてしまうことの多い現代において、集中力があることは児童・生徒にとっても、また教師にとっても非常に大きな利点である。

特に注目すべき点として、児童・生徒が他社製デバイスを利用している場合よりもMacを利用している場合の方が「授業の内容への集中力」にプラスの影響があるという回答者の割合が10ポイント高く、「責任感の発揮」では15ポイント高いことが挙げられる。

ここに示した自己管理能力と実行力に関連するすべての指標で、Macを利用している児童・生徒への影響は主要な他社製デバイスを利用している児童・生徒への影響と比べて有意に高い。

アジア太平洋地域の結果

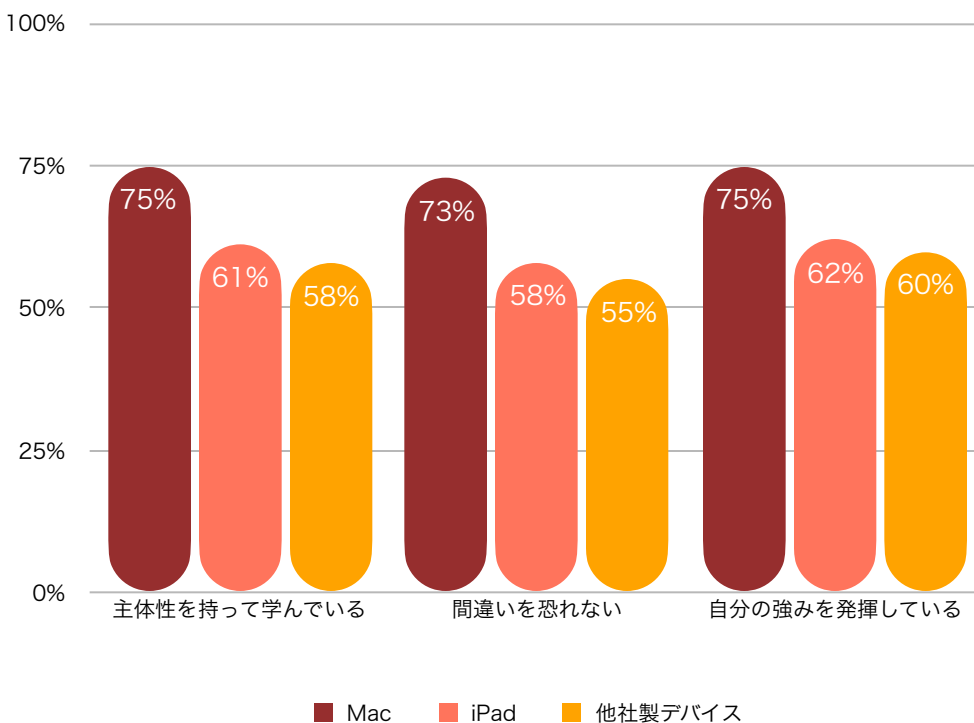


韓国では、Macは主要な他社製デバイスよりも「自発性・自主性の向上」が12ポイントも高い。

世界的に見ても、Macを利用している児童・生徒に対する影響は他社製デバイスを利用している児童・生徒と比較して優位であり、その差は「授業の内容への集中力」において12ポイント（80%対68%）、「積極的な学習習慣の確立」において9ポイント（80%対71%）である。

自己管理能力と実行力に関連する児童・生徒の行動や態度についても、児童・生徒が他社製デバイスを利用している場合よりもMacを利用している場合の方が、積極的な学習態度がより頻繁に見られると、この地域の教師は回答している。

アジア太平洋地域の結果



日本では「間違いを恐れない」に関する教師からの回答で、Macが主要な他社製デバイスを35ポイント上回っている。

「主体性を持って学んでいる」「間違いを恐れない」「自身の強みを発揮している」といった行動や態度が見られる頻度は、調査対象となったすべての国において、Macが他社製デバイスを上回っている（それぞれ75%対58%、73%対53%、76%対62%）。

意欲と関心

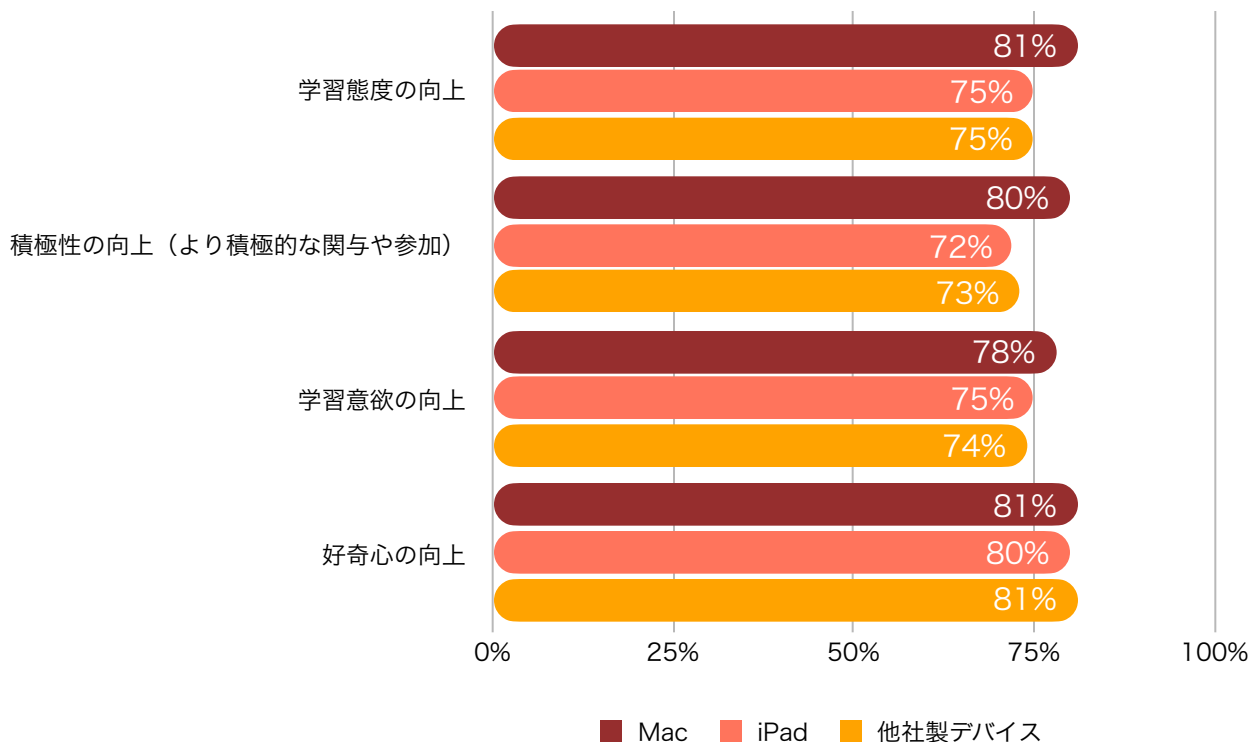
アジア太平洋地域では教師の少なくとも78%が、Apple製デバイスは児童・生徒の学習態度の向上、好奇心、学習意欲、そして学習への積極的な取り組みにおいてプラスの影響を与えていると報告している。これらはすべて、児童・生徒の成長において極めて重要な要素である。

学習意欲の向上、学習態度の向上、学習への積極的な取り組みの項目において、児童・生徒がiPadやMacを利用している場合の方が、他社製デバイスを利用している場合に比べて、その効果に対する教師の評価が有意に高い。

Apple製品は、教育現場において基礎的な教科の内容理解をサポートしながら、現代の児童・生徒の意欲や関心を引き出してもいる。これらの結果が示すのは、Apple製デバイスが小学校から中学校・高等学校までの児童・生徒に役立つ、パワフルな教育ツールになるということである。

児童・生徒がMacを利用している場合、教師はMacがプラスの影響を及ぼしていることを認識しており、「積極性の向上」が見られるという回答の割合は児童・生徒が他社製デバイスを利用している場合よりも7ポイント高い。

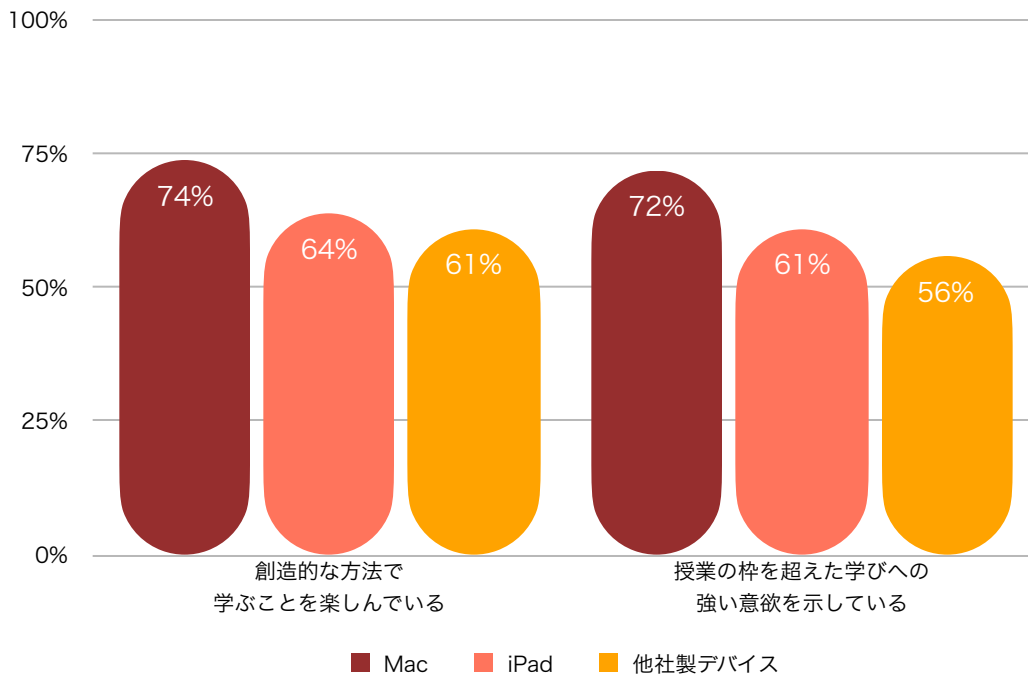
アジア太平洋地域の結果



世界的に見ても、Macを利用している児童・生徒に対する影響は主要な他社製デバイスを利用している児童・生徒と比較して優位であり、「積極性の向上」の項目における差は8ポイント（80%対72%）である。

意欲と関心に関連する行動や態度についても、児童・生徒が他社製デバイスを利用している場合よりもMacを利用している場合の方が、積極的な学習態度がより頻繁に見られるとアジア太平洋地域の教師は回答している。

アジア太平洋地域の結果



オーストラリアと日本の教師からの回答では、児童・生徒がMacを利用している場合の方が、主要な他社製デバイスを利用している場合よりも「授業の枠を超えた学びへの強い意欲を示している」という行動や態度が見られる頻度が高く、その差はそれぞれ15ポイントと20ポイントである。さらに「創造的な方法で学ぶことを楽しんでいる」については、両国ともMacの方が18ポイント上回っている。

「学ぶことを楽しんでいる」「授業の枠を超えた学びへの強い意欲を示している」といった行動や態度が見られる頻度は、世界全体でもMacが他社製デバイスを上回っている（それぞれ74%対60%、74%対60%）。

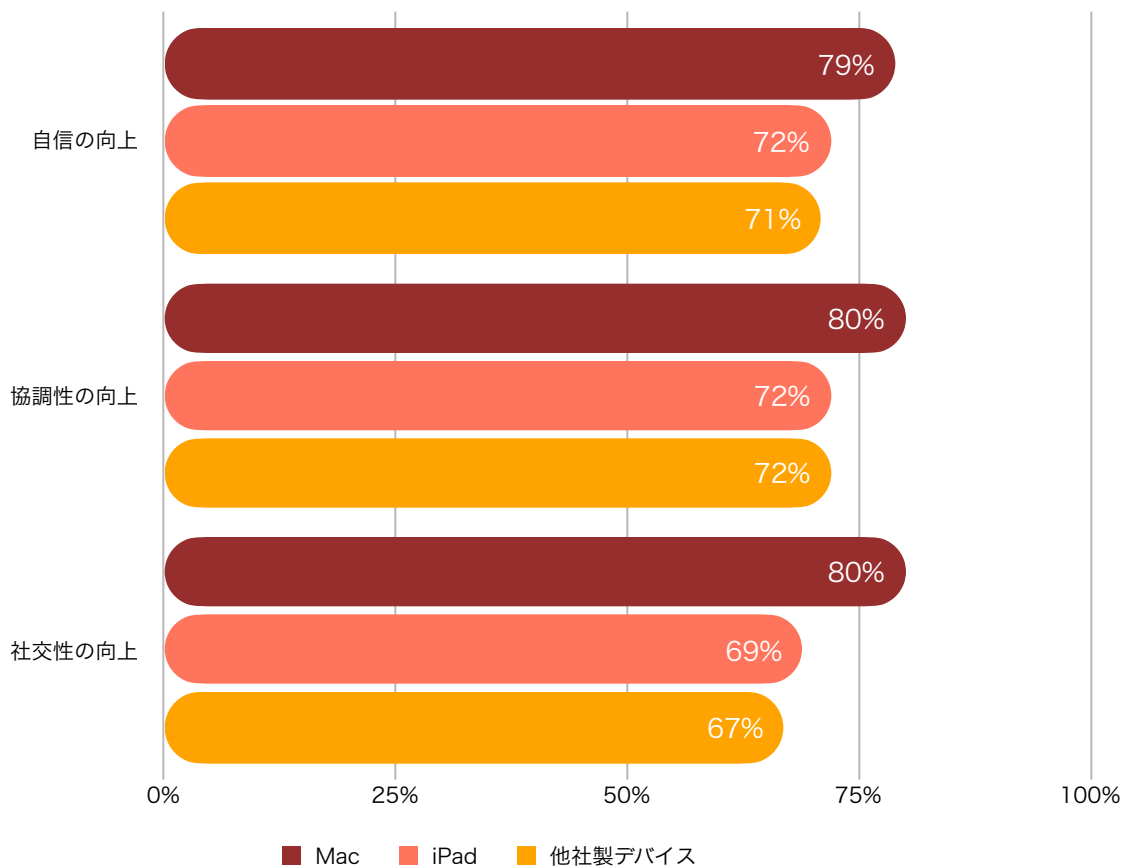
協働的な学び

平均約80%の教師が、Macは児童・生徒の自信、協調性、社交性といった自己に関わる能力や対人能力にプラスの影響を与えていると回答している。

Macはこれら3つの項目において、他社製デバイスを8~13ポイント有意に上回っている。

児童・生徒がMacを利用している場合「社交性の向上」にプラスの影響があるという回答の割合は他社製デバイスを利用している場合に比べて**13ポイント**高い。日本では、その差は**16ポイント**である。

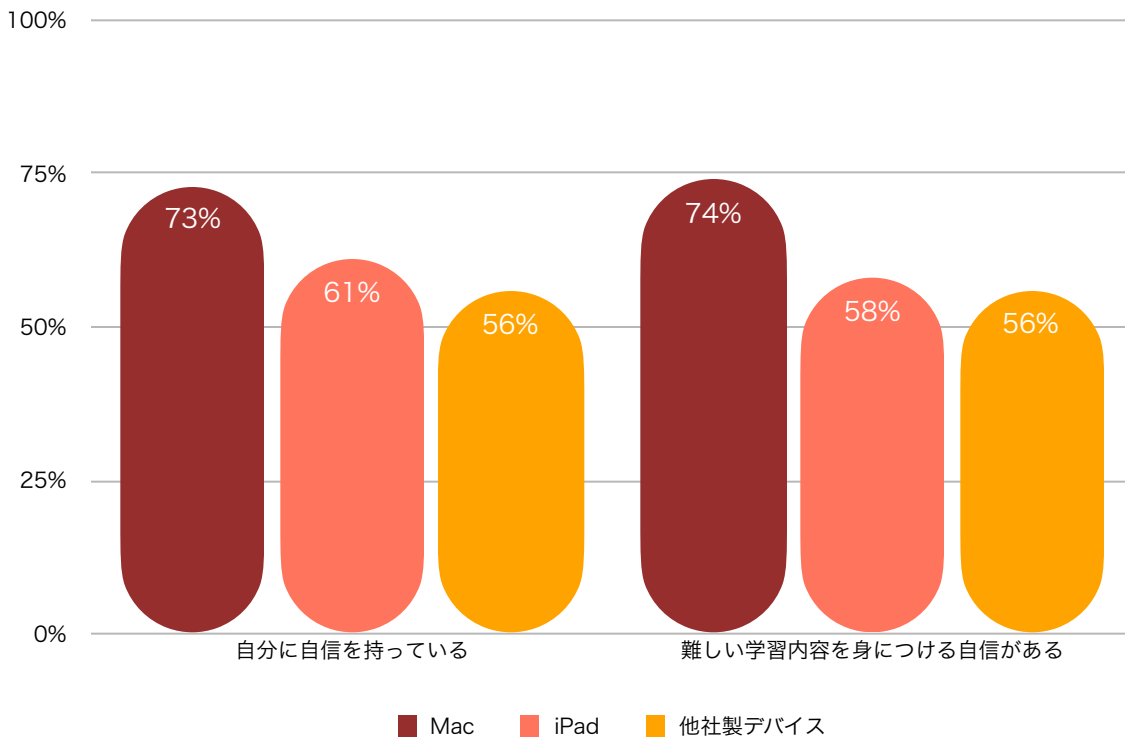
アジア太平洋地域の結果



世界的に見ても、これらの指標のすべてにおいて、Macを利用している児童・生徒に対する影響は他社製デバイスを利用している児童・生徒よりも9~22ポイント上回っている。

児童・生徒に見られる行動や態度についても、児童・生徒がMacを利用している場合の方が、主要な他社製デバイスを利用している場合よりも、自信にもとづく積極的な行動や態度が見られる頻度が高い。

アジア太平洋地域の結果



このようにMacが主要な他社製デバイスを大幅に上回る傾向は、オーストラリアと日本で報告されている。オーストラリアでは「自分に自信を持っている」で10ポイント、「難しい学習内容を身につける自信がある」で14ポイントの差があり、日本では、それぞれ25ポイント、24ポイントの差となっている。

「自分に自信を持っている」「難しい学習内容を身につける自信がある」といった行動や態度が見られる頻度は、世界全体でもMacが他社製デバイスを上回っている（それぞれ76%対61%、75%対58%）。

結論

児童・生徒の成果は、学業成績のみに限られるものではない。児童・生徒が教室で成果を挙げ、いずれ社会に出て成功を収めるためには、自主性、自信、創造性、批判的思考力といった認知能力や非認知能力も同様に不可欠である。Apple製デバイスは間違いなく、児童・生徒の成果を示すあらゆる指標を満たしている。

現在Macを利用する児童・生徒を受け持っている教師は、教育における様々な主要項目で大きなプラスの影響が見られると報告している。この調査の結果から、Appleのテクノロジーが教育機関、教師、児童・生徒の支援に大きく寄与していることを、教師が実際の経験からも、観察の結果からも確信していることがわかる。

Apple製デバイスは、小学校から中学校・高等学校、それ以降に至る教育の全過程を通じて、児童・生徒の学びと成長を大いに促す有益なツールである。Appleのテクノロジーを活用すれば、児童・生徒は意欲、自信、協調性を身につけ、世界に羽ばたく人材として成長することができる。

付録A：アジア太平洋地域のデータ

表形式によるデータの報告

Apple製デバイスのパーセンテージの横に「c」の表示がある場合、他社製デバイスの数値よりも有意に高いことを示す。

他社製デバイスのパーセンテージの横に「i」の表示がある場合、iPadの数値よりも有意に高いことを示す。

他社製デバイスのパーセンテージの横に「M」の表示がある場合、Macの数値よりも有意に高いことを示す。

PP差=iPadまたはMacと他社製デバイス間のパーセンテージポイント（PP）の差

アジア太平洋地域：児童・生徒への影響に関する項目

「かなりプラス」または「ややプラス」の影響があると回答した割合	Mac	iPad	他社製デバイス	PP差 Mac	PP差 iPad
全般的な影響	91% c	85%	83%	8	2
高度な思考力と創造性					
テクノロジー活用能力の習得	79% c	77%	74%	5	3
批判的思考力の発揮	81% c	66%	66%	15	0
デジタルリテラシーの習得	80% c	78%	75%	5	3
創造的能力の習得	80% c	74%	72%	8	2
自己管理能力と実行力					
新たな学習戦略の試行	82% c	73%	75%	7	-2
授業の内容への集中力	79% c	71%	69%	10	2
責任感の発揮	80% c	68%	65%	15	3
自発性・自主性の向上	81% c	72%	73%	8	-1
積極的な学習習慣の確立	79% c	73%	73%	6	0
意欲と関心					
学習態度の向上	81% c	75%	75%	6	0
好奇心の向上	81%	80%	81%	0	-1
積極性の向上	80% c	72%	73%	7	-1
学習意欲の向上	78% c	75%	74%	4	1
協働的な学び					
協調性の向上	80% c	72%	72%	8	0
自信の向上	79% c	72%	71%	8	1
社交性の向上	80% c	69%	67%	13	2

質問：全般的に見て、[児童・生徒が主に利用しているデバイス]は、教室において[対象学年]の児童・生徒にどの程度の影響を与えていると思いますか？

(対象：授業中に[デバイス]を主に利用する児童・生徒を受け持っている教師)

質問：以下の各項目に関し、[児童・生徒が主に利用しているデバイス]は、児童・生徒にどの程度の影響を与えていると思いますか？

(対象：授業中に[デバイス]を主に利用する児童・生徒を受け持っている教師。「かなりプラス」または「ややプラス」と回答した割合を表示)

アジア太平洋地域：児童・生徒の行動および態度に関する項目

「よく見られる」または「非常によく見られる」と回答した割合	Mac	iPad	他社製 デバイス	PP差 Mac	PP差 iPad
高度な思考力と創造性					
学習内容を創造的な方法で表現している	75% c	61%	59%	16	2
問題解決に積極的に取り組んでいる	75% c	61%	60%	15	1
批判的思考力を発揮している	74% c	58%	55%	19	3
自己管理能力と実行力					
主体性を持って学んでいる	75% c	61%	58%	17	3
間違いを恐れない	73% c	58%	55%	18	3
自分の強みを発揮している	75% c	62%	60%	15	2
意欲と関心					
学ぶことを楽しんでいる	74% c	64%	61%	13	2
授業の枠を超えた学びへの強い意欲を示している	72% c	61%	56%	16	5
協働的な学び					
自分に自信を持っている	73% c	61%	56%	17	5
難しい学習内容を身につける自信がある	74% c	58%	56%	18	2

質問：あなたのクラス（または対象学年）では、以下のような児童・生徒の行動や態度がどのくらいの頻度で見られますか？
 （対象：授業中に[デバイス]を主に利用する児童・生徒を受け持っている教師。「よく見られる」または「非常によく見られる」と回答した割合を表示）

付録B：世界全体のデータ

表形式によるデータの報告

世界全体：児童・生徒への影響に関する項目

「かなりプラス」または「ややプラス」の影響があると回答した割合	Mac	iPad	他社製デバイス*	PP差 Mac	PP差 iPad
全般的な影響	88% c	83% c	78%	10	5
高度な思考力と創造性					
テクノロジー活用能力の習得	81%	80%	81%	0	-1
批判的思考力の発揮	80% c	69%	68%	12	1
デジタルリテラシーの習得	81%	81%	81%	0	0
創造的能力の習得	81% c	76% c	73%	8	3
自己管理能力と実行力					
新たな学習戦略の試行	81% c	75%	75%	6	0
授業の内容への集中力	80% c	71% c	68%	12	3
責任感の発揮	81% c	71%	72%	9	-1
自発性・自主性の向上	81% c	76%	74%	7	2
積極的な学習習慣の確立	80% c	72%	71%	9	1
意欲と関心					
学習態度の向上	81% c	77% c	75%	6	2
好奇心の向上	81% c	79% c	77%	4	2
積極性の向上	80% c	74% c	72%	8	2
学習意欲の向上	81% c	78% c	75%	6	3
協働的な学び					
協調性の向上	80% c	72%	71%	9	1
自信の向上	81% c	73% c	71%	10	2
社交性の向上	79% c	66% c	57%	22	9

*注：世界全体の他社製デバイスのデータには中国は含まれていません（他社製デバイスが販売されていないため）。

質問：全般的に見て、[児童・生徒が主に利用しているデバイス]は、教室において[対象学年]の児童・生徒にどの程度の影響を与えていると思いますか？
 (対象：授業中に[デバイス]を主に利用する児童・生徒を受け持っている教師)

質問：以下の各項目に関し、[児童・生徒が主に利用しているデバイス]は、児童・生徒にどの程度の影響を与えていると思いますか？
 (対象：授業中に[デバイス]を主に利用する児童・生徒を受け持っている教師。「かなりプラス」または「ややプラス」と回答した割合を表示)

世界全体：生徒の行動・態度に関する項目

「よく見られる」または「非常によく見られる」と回答した割合	Mac	iPad	他社製 デバイス*	PP差 Mac	PP差 iPad
高度な思考力と創造性					
学習内容を創造的な方法で表現している	76% c	65% c	61%	15	4
問題解決に積極的に取り組んでいる	76% c	65% c	63%	13	2
批判的思考力を発揮している	75% c	59%	58%	17	1
自己管理能力と実行力					
主体性を持って学んでいる	75% c	62% c	58%	17	4
間違いを恐れない	73% c	58% c	53%	20	5
自分の強みを発揮している	76% c	65% c	62%	14	3
意欲と関心					
学ぶことを楽しんでいる	74% c	65% c	60%	14	5
授業の枠を超えた学びへの強い意欲を示している	74% c	64% c	60%	14	4
協働的な学び					
自分に自信を持っている	76% c	66% c	61%	15	5
難しい学習内容を身につける自信がある	75% c	61% c	58%	17	3

質問：あなたのクラス（または対象学年）では、以下のような児童・生徒の行動や態度がどのくらいの頻度で見られますか？

（対象：授業中に[デバイス]を主に利用する児童・生徒を受け持っている教師。「よく見られる」または「非常によく見られる」と回答した割合を表示）

付録C：デバイスの重要な特性に関する評価

重要な特性に関する評価

米国の小中高等学校の教師や管理職は、Apple製デバイスが、児童・生徒や教育者の体験にとって重要な主要機能を一貫して提供していると報告している*。

「非常に良い」または「良い」と評価した教師および管理職の割合	Mac	他社製デバイス	MacとのPP差
n =	122	295	
性能	94% c	58%	36
児童・生徒の学びを深める機能	93% c	69%	24
耐久性	91% c	61%	30
プライバシーとセキュリティ	91% c	66%	25
優れた内蔵アプリ	89% c	64%	25
使いやすさ	88% c	70%	18
信頼性	87% c	54%	33
教育用アプリの幅広さ	85% c	69%	16
内蔵のアクセシビリティ機能	84% c	60%	24
既存のテクノロジー環境との互換性	84% c	74%	10
長いバッテリー駆動時間	83% c	60%	23

*出典：K - 12 Tech Survey 2024（2024年小中高等学校テクノロジー調査、米国）

質問1：児童・生徒と一緒に利用したいデバイスについて、最も重要だと思う要素と、最も重要ではないと思う要素をそれぞれ選択してください。

質問2：各デバイスについて、以下の項目をどの程度評価しますか？

付録D：国別のデータ

表形式によるデータの報告

Apple製デバイスのパーセンテージの横に「c」の表示がある場合、他社製デバイスの数値よりも有意に高いことを示す。

他社製デバイスのパーセンテージの横に「i」の表示がある場合、iPadの数値よりも有意に高いことを示す。

他社製デバイスのパーセンテージの横に「M」の表示がある場合、Macの数値よりも有意に高いことを示す。

PP差=iPadまたはMacと他社製デバイス間のパーセンテージポイント（PP）の差

オーストラリア：児童・生徒への影響に関する項目

「かなりプラス」または「ややプラス」の影響があると回答した割合	Mac	iPad	他社製デバイス	PP差 Mac	PP差 iPad
全般的な影響	91%	84%	90%	1	-6
高度な思考力と創造性					
テクノロジー活用能力の習得	81%	81%	78%	3	3
批判的思考力の発揮	83%	72%	79%	4	-7
デジタルリテラシーの習得	84%	84%	82%	2	2
創造的能力の習得	84%	78%	83%	1	-5
自己管理能力と実行力					
新たな学習戦略の試行	87%	76%	81%	6	-5
授業の内容への集中力	83% c	75%	76%	7	-1
責任感の発揮	86% c	79%	77%	9	2
自発性・自主性の向上	88%	79%	82%	6	-3
積極的な学習習慣の確立	85%	77%	80%	5	-3
意欲と関心					
学習態度の向上	83%	78%	81%	2	-3
好奇心の向上	85%	84%	84%	1	0
積極性の向上	84%	80%	78%	6	2
学習意欲の向上	83%	82%	80%	3	2
協働的な学び					
協調性の向上	81%	77%	79%	2	-2
自信の向上	85% c	74%	76%	9	-2
社交性の向上	81% c	70%	72%	11	-2

質問：全般的に見て、[児童・生徒が主に利用しているデバイス]は、教室において[対象学年]の児童・生徒にどの程度の影響を与えていると思いますか？

(対象：授業中に[デバイス]を主に利用する児童・生徒を受け持っている教師)

質問：以下の各項目に関し、[児童・生徒が主に利用しているデバイス]は、児童・生徒にどの程度の影響を与えていると思いますか？

(対象：授業中に[デバイス]を主に利用する児童・生徒を受け持っている教師。「かなりプラス」または「ややプラス」と回答した割合を表示)

オーストラリア：児童・生徒の行動・態度に関する項目

「よく見られる」または「非常によく見られる」と回答した割合	Mac	iPad	他社製 デバイス	PP差 Mac	PP差 iPad
高度な思考力と創造性					
学習内容を創造的な方法で表現している	77% c	68%	66%	11	2
問題解決に積極的に取り組んでいる	80% c	65%	69%	11	-4
批判的思考力を発揮している	77% c	65%	68%	9	-3
自己管理能力と実行力					
主体性を持って学んでいる	77% c	64%	63%	14	1
間違いを恐れない	73% c	64%	62%	11	2
自分の強みを発揮している	80% c	69%	68%	12	1
意欲と関心					
学ぶことを楽しんでいる	78% c	70%	60%	18	10
授業の枠を超えた学びへの強い意欲を示している	74% c	69%	59%	15	10
協働的な学び					
自分に自信を持っている	79% c	65%	69%	10	-4
難しい学習内容を身につける自信がある	73% c	61%	59%	14	2

質問：あなたのクラス（または対象学年）では、以下のような児童・生徒の行動や態度がどのくらいの頻度で見られますか？
 （対象：授業中に[デバイス]を主に利用する児童・生徒を受け持っている教師。「よく見られる」または「非常によく見られる」と回答した割合を表示）

日本：児童・生徒への影響に関する項目

「かなりプラス」または「ややプラス」の影響があると回答した割合	Mac	iPad	他社製デバイス	PP差 Mac	PP差 iPad
全般的な影響	81% c	75%	72%	9	3
高度な思考力と創造性					
テクノロジー活用能力の習得	66%	70%	69%	-3	1
批判的思考力の発揮	69% c	49%	47%	22	2
デジタルリテラシーの習得	65%	70%	66%	-1	4
創造的能力の習得	64%	64%	57%	7	7
自己管理能力と実行力					
新たな学習戦略の試行	69%	64%	61%	8	7
授業の内容への集中力	65% c	60%	54%	11	6
責任感の発揮	66% c	45%	45%	21	0
自発性・自主性の向上	64%	65%	63%	1	2
積極的な学習習慣の確立	65%	60%	61%	4	-1
意欲と関心					
学習態度の向上	70%	66%	66%	4	0
好奇心の向上	74%	77%	76%	-2	1
積極性の向上	67%	56%	65% i	2	-9
学習意欲の向上	66%	68%	63%	3	5
協働的な学び					
協調性の向上	61%	61%	60%	1	1
自信の向上	65%	65%	59%	6	6
社交性の向上	70% c	60%	54%	16	6

質問：全般的に見て、[児童・生徒が主に利用しているデバイス]は、教室において[対象学年]の児童・生徒にどの程度の影響を与えていると思いますか？
 (対象：授業中に[デバイス]を主に利用する児童・生徒を受け持っている教師)

質問：以下の各項目に関し、[児童・生徒が主に利用しているデバイス]は、児童・生徒にどの程度の影響を与えていると思いますか？
 (対象：授業中に[デバイス]を主に利用する児童・生徒を受け持っている教師。「かなりプラス」または「ややプラス」と回答した割合を表示)

日本：児童・生徒の行動・態度に関する項目

「よく見られる」または「非常によく見られる」と回答した割合	Mac	iPad	他社製 デバイス	PP差 Mac	PP差 iPad
高度な思考力と創造性					
学習内容を創造的な方法で表現している	66% c	41%	43%	23	-2
問題解決に積極的に取り組んでいる	62% c	43%	46%	16	-3
批判的思考力を発揮している	65% c	37%	36%	29	1
自己管理能力と実行力					
主体性を持って学んでいる	58% c	42%	43%	15	-1
間違いを恐れない	67% c	37%	32%	35	5
自分の強みを発揮している	60% c	49%	45%	15	4
意欲と関心					
学ぶことを楽しんでいる	65% c	43%	47%	18	-4
授業の枠を超えた学びへの強い意欲を示している	61% c	44%	41%	20	3
協働的な学び					
自分に自信を持っている	62% c	45%	37%	25	8
難しい学習内容を身につける自信がある	65% c	41%	41%	24	0

質問：あなたのクラス（または対象学年）では、以下のような児童・生徒の行動や態度がどのくらいの頻度で見られますか？
 （対象：授業中に[デバイス]を主に利用する児童・生徒を受け持っている教師。「よく見られる」または「非常によく見られる」と回答した割合を表示）

韓国：児童・生徒への影響に関する項目

「かなりプラス」または「ややプラス」の影響があると回答した割合	Mac	iPad	他社製デバイス	PP差 Mac	PP差 iPad
全般的な影響	90%	86%	83%	7	3
高度な思考力と創造性					
テクノロジー活用能力の習得	77%	72%	78%	-1	-6
批判的思考力の発揮	81% c	62%	64%	17	-2
デジタルリテラシーの習得	82%	71%	73%	9	-2
創造的能力の習得	79%	70%	71%	8	-1
自己管理能力と実行力					
新たな学習戦略の試行	81%	67%	82% i	-1	-15
授業の内容への集中力	77%	68%	76%	1	-8
責任感の発揮	77%	62%	68%	9	-6
自発性・自主性の向上	79% c	65%	67%	12	-2
積極的な学習習慣の確立	78%	69%	73%	5	-4
意欲と関心					
学習態度の向上	78%	71%	74%	4	-3
好奇心の向上	79%	75%	83%	-4	-8
積極性の向上	74%	71%	70%	4	1
学習意欲の向上	79%	68%	78%	1	-10
協働的な学び					
協調性の向上	82% c	66%	72%	10	-6
自信の向上	76%	68%	71%	5	-3
社交性の向上	79% c	69%	67%	12	2

質問：全般的に見て、[児童・生徒が主に利用しているデバイス]は、教室において[対象学年]の児童・生徒にどの程度の影響を与えていると思いますか？
 (対象：授業中に[デバイス]を主に利用する児童・生徒を受け持っている教師)

質問：以下の各項目に関し、[児童・生徒が主に利用しているデバイス]は、児童・生徒にどの程度の影響を与えていると思いますか？
 (対象：授業中に[デバイス]を主に利用する児童・生徒を受け持っている教師。「かなりプラス」または「ややプラス」と回答した割合を表示)

韓国：児童・生徒の行動および態度に関する項目

「よく見られる」または「非常によく見られる」と回答した割合	Mac	iPad	他社製 デバイス	PP差 Mac	PP差 iPad
高度な思考力と創造性					
学習内容を創造的な方法で表現している	76% c	56%	64%	12	-8
問題解決に積極的に取り組んでいる	73%	55%	66%	7	-11
批判的思考力を発揮している	74% c	55%	49%	25	6
自己管理能力と実行力					
主体性を持って学んでいる	75%	59%	64%	11	-5
間違いを恐れない	73%	55%	63%	10	-8
自分の強みを発揮している	73%	55%	63%	10	-8
意欲と関心					
学ぶことを楽しんでいる	70%	62%	74% i	-4	-12
授業の枠を超えた学びへの強い意欲を示している	71%	51%	70% i	1	-19
協働的な学び					
自分に自信を持っている	71%	56%	63%	8	-7
難しい学習内容を身につける自信がある	72%	55%	68% i	4	-13

質問：あなたのクラス（または対象学年）では、以下のような児童・生徒の行動や態度がどのくらいの頻度で見られますか？

（対象：授業中に[デバイス]を主に利用する児童・生徒を受け持っている教師。「よく見られる」または「非常によく見られる」と回答した割合を表示）

台湾：児童・生徒への影響に関する項目

「かなりプラス」または「ややプラス」の影響があると回答した割合	Mac	iPad	他社製デバイス	PP差 Mac	PP差 iPad
全般的な影響	96%	94%	94%	2	0
高度な思考力と創造性					
テクノロジー活用能力の習得	84% c	83% c	73%	11	10
批判的思考力の発揮	85%	81%	88%	-3	-7
デジタルリテラシーの習得	82%	87%	83%	-1	4
創造的能力の習得	83%	83%	84%	-1	-1
自己管理能力と実行力					
新たな学習戦略の試行	83%	84%	87%	-4	-3
授業の内容への集中力	84%	82%	83%	1	-1
責任感の発揮	83%	84%	83%	0	1
自発性・自主性の向上	83%	79%	84%	-1	-5
積極的な学習習慣の確立	82%	84%	88%	-6	-4
意欲と関心					
学習態度の向上	85%	83%	81%	4	2
好奇心の向上	83%	85%	85%	-2	0
積極性の向上	85%	79%	86%	-1	-7
学習意欲の向上	79%	83%	85%	-6	-2
協働的な学び					
協調性の向上	87%	83%	86%	1	-3
自信の向上	82%	81%	87%	-5	-6
社交性の向上	84%	79%	83%	1	-4

質問：全般的に見て、[児童・生徒が主に利用しているデバイス]は、教室において[対象学年]の児童・生徒にどの程度の影響を与えていると思いますか？
 (対象：授業中に[デバイス]を主に利用する児童・生徒を受け持っている教師)

質問：以下の各項目に関し、[児童・生徒が主に利用しているデバイス]は、児童・生徒にどの程度の影響を与えていると思いますか？
 (対象：授業中に[デバイス]を主に利用する児童・生徒を受け持っている教師。「かなりプラス」または「ややプラス」と回答した割合を表示)

台湾：児童・生徒の行動・態度に関する項目

「よく見られる」または「非常によく見られる」と回答した割合	Mac	iPad	他社製 デバイス	PP差 Mac	PP差 iPad
高度な思考力と創造性					
学習内容を創造的な方法で表現している	76%	76%	76%	0	0
問題解決に積極的に取り組んでいる	80%	80%	71%	9	9
批判的思考力を発揮している	74%	76%	79%	-5	-3
自己管理能力と実行力					
主体性を持って学んでいる	80%	78%	75%	5	3
間違いを恐れない	75%	73%	82%	-7	-9
自分の強みを発揮している	78%	73%	75%	3	-2
意欲と関心					
学ぶことを楽しんでいる	78%	79%	82%	-4	-3
授業の枠を超えた学びへの強い意欲を示している	75%	78%	72%	3	6
協働的な学び					
自分に自信を持っている	73%	77%	70%	3	7
難しい学習内容を身につける自信がある	79%	74%	74%	5	0

質問：あなたのクラス（または対象学年）では、以下のような児童・生徒の行動や態度がどのくらいの頻度で見られますか？

（対象：授業中に[デバイス]を主に利用する児童・生徒を受け持っている教師。「よく見られる」または「非常によく見られる」と回答した割合を表示）

GREATER DIVIDE



www.greaterdivide.com